

広報 の あじす

AJISU

1981 11/5
№.359

広報あじす 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日 発行
山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番(代) ☎754-12

印刷 よしの印刷株式会社



献血にご協力を

申し出には血圧測定などのサービス

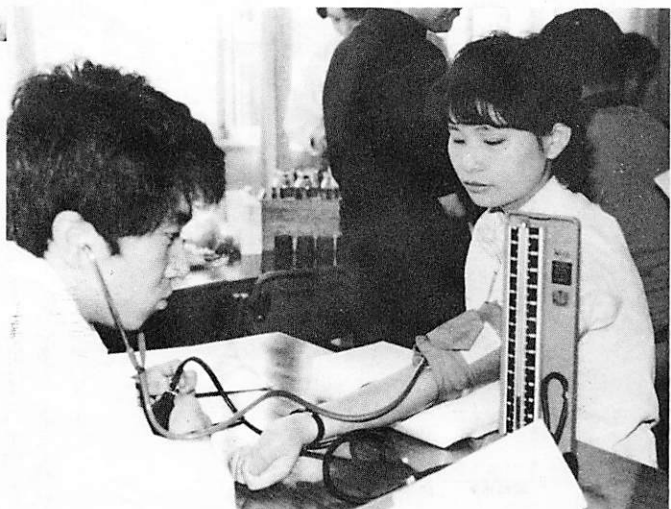
十月二十九日、日赤の移動献血車しろぼと号が来町して、みなさんから血液の提供を受けました。

献血は人にあなたの血を与えるというばかりでなく、もし、あなたの家族や知人で血が必要になった時は預けてあったあなたの血を返してもらおうという意味も含まれています。

「私の家族が血をもううたので、それからは毎回献血をするんですよ」という人もあり、今回は六十六人が献血。

県赤十字血液センターの係の人は「献血を申し出てもらえば血液型、血液の比重、血圧測定などのサービスをしますので、ぜひ献血にご協力を」と呼びかけています。次の献血は来年一月十六日です。

(写真は献血の提供と血圧測定)



たばこは町内で買ひましよう

国勢調査基本集計



人口増の九割は お年寄り 高齢化

進む 高 齢 化

一世帯当り人員減る 世帯増えて

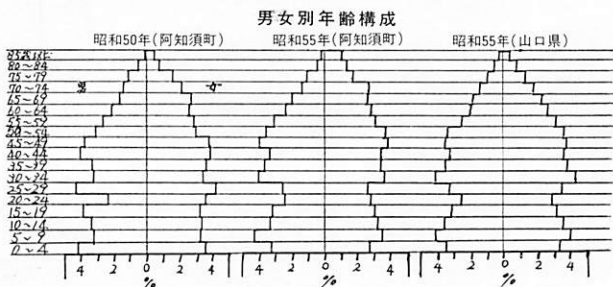
昨年十月一日付で行われた国勢調査は総理府統計局で集計中ですが、人口について、産業別や年齢別の集計がこのほど発表されました。

人口、世帯は、昨年末に発表されましたが、今回は年齢別の人口や就業状況などこまかい数字が出されています。

【人口密度】本町の人口は八千三百二十七人。うち男子三千八百八十七人、女子四千四百四十人で男女比は男子四六・七％、女子五三・三％。総人口は県下五十六市町村のうち三十三番目です。過去五年間の人口増加率は二・三％で県下十三番。町の総面積は二二・四四平方キロメートルですが、これに対する人口密度は一平方キロ当り三百七十一・一人、県下で高い方から十六番目です。県平均は二百六十一・一人。

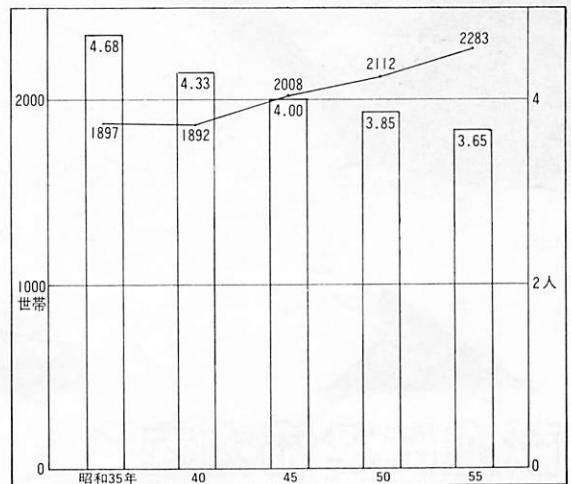
【世帯】世帯数は合計二千二百八十三世帯。このうち普通世帯は二千八百八十四。準世帯（会社の独身寮に入っている人などは九十九人。普通世帯の構成人口は一世帯平均三・六九人で、五年前に比べて〇・一三人減です。出生率の低下や核家族化が原因とみられています。

【年齢構成】年齢別の人口をみる場合、①年少人口（〇～一四歳）②生産年齢人口（一五～六四歳）③老年人口（六五歳以上）に分けています。年少人口は千七百三十二人で全体の二〇・八％。生産人口は五千四百四十二人（六五・四％）。老年人口千五百三十三人（二三・八％）。特に老年人口は五年前と比べて一八



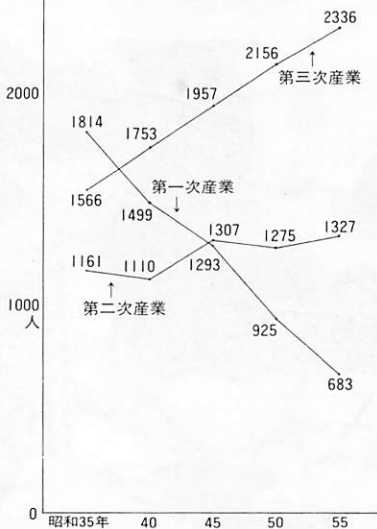
・〇％増です。町全体の人口の伸び率は五年間で百九十八人、こ

本町の世帯数と一世帯当り人員の推移（普通世帯+準世帯）



れに対して老年者は百七十六人の増ですから人口増の約九三％は老人という計算になります。また、年少人口に対する老年人口の比率、つまり老年化指数は六七で、県の五二を大きく上回っており、高齢者の比率が高いことがわかります。

産業別就業者数の推移



全国的な傾向として第一次は減り、第三次が増大しています。製造工業が盛んところは第二次産業の就業者が大きくなります。県平均は第一次が二三・八％、第二次三三・〇、第三次五五・一％です。本町はこの平均より第一次がやや多く、第三次がやや少なくなっています。

【産業別就業者数】これは、十五歳以上の人がどんな職業に何人いるかを調べたものです。職業分類は農林・漁業を「第一次産業」。鉱業・製造業・建設業を「第二次産業」。卸小売・金融・公務、サービス業などを「第三次産業」というようにしています。

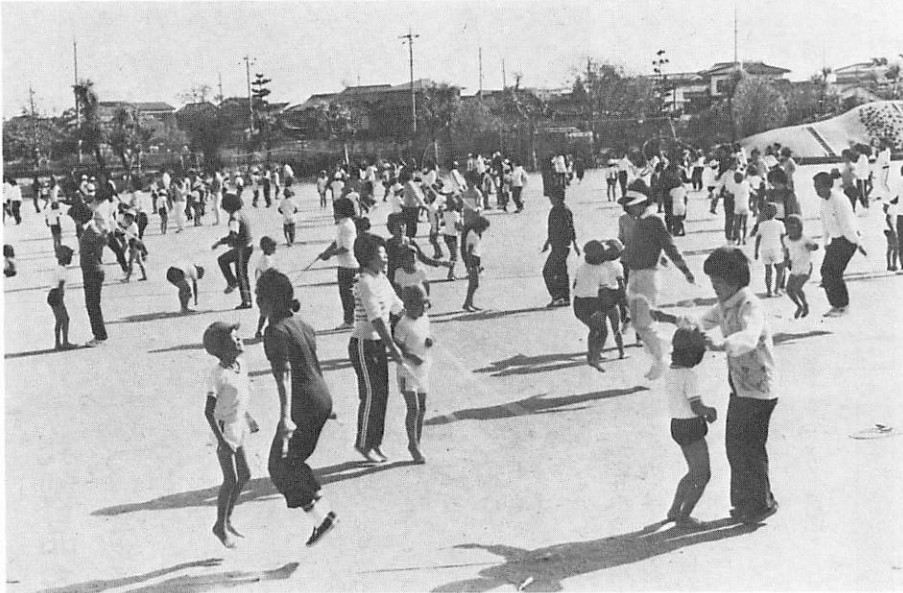
本町の就業者は四千三百四十七人。そのうち第一次が六百八十三人で全体の一五・七％。第二次は三千二百二十七人（三〇・五％）。第三次が二千三百三十六人（五三・八％）、分類不能一人です。

たくましい防長っ子を育てる 実験校区研究発表大会

分科会で実践や討議

昭和五十五・五十六年度の二年間県教育委員会から「たくましい防長っ子を育てる運動」の実験校区として指定されている本町で、十月三十日に研究発表大会が開かれました。

研究主題は「自ら求め、最後までやりぬく、思いやりのある子ども」の育成。主催は県教育委員会、町教育委員会、たくましい阿知須の子育成協議会、当日は指導者として県から山本教育次長や富永社会教育課長、原田吉佐教育事務所長など専門家が出席。参加者は昼までそれぞれ、阿知須・井関小学校、阿知



▲親子で縄とび……たくましさの実践

須中学校、阿知須幼稚園に分れて実践活動や公開授業を視察しその後、たくましい阿知須の子育成協議会会長渡辺利彦さん（阿知須中学校長）が全体会で「実験校区実践の歩み」と題しての研究発表。

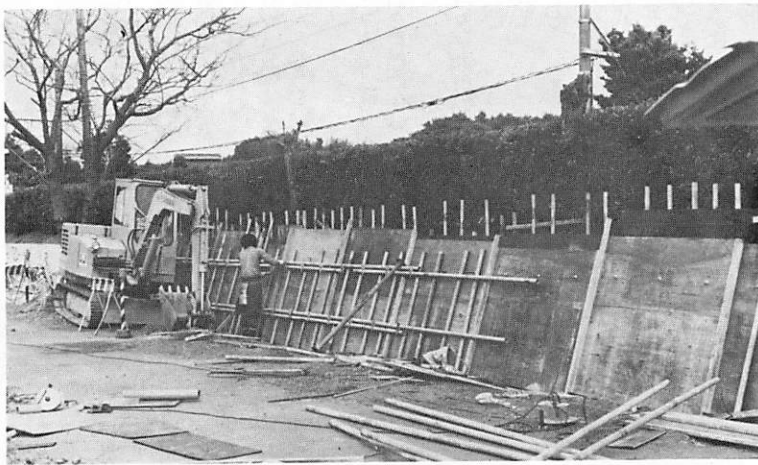
また、午後は幼児部会、学校部会、PTA部会、地域部会の各分科会に分れ、たくましい子どもを育てるにはいかにすべきかということを発表者が意見発表を行いました。そして、各分科会のテーマに従って会議が進

められ、幼児部会では「幼児期の体力遊びや園・家庭での生活習慣化をどうすればよいか」など、学校部会では「学校教育活動や家庭・地域への働きかけはどうか」など、PTA部会では「過保護をなくすためには親や家庭はどうか」、PTA活動はどうすればよいか、地域部会では「少年団体の育成やあたたかいふるさとづくりと子どもの健全育成はどうか」などの討議をしました。

岩倉駅に自転車駐車場 収容能力は四十五台

岩倉駅周辺に自転車の駐車場を……という声に
応えて、町では
設置を計画、現
在、工事が進ん
でいます。

この駐車場は
広さ八一平方メ
ートルで四十五
台の自転車を収
容できます。工
期は十月十五日
から十一月二十
五日までの予定
工事費は百六十
五万円となつて
おり、広成建設
株式会社（小郡
出張所）が工事
を行っています。
用地は国鉄から
町が借り受け
使用料を払うこ
とになります。
今年度は八月末



以降、来年三月までで一万四千八百十円です。
（写真は工事中の岩倉駐車場）

この社会あなたの税が生きている

十一月十一日～十七日 「税を知る週間」

「マイコのくらしと税金……テレビ（Uチャンネル）で放映中」

私たちの社会をより豊かに、より住みやすくするために、税金はいろいろな面で使われています。

身近なところでは、社会福祉、道路や下水道の整備、教育など、幅広い分野で私たちの生活の後押しをしてくれている税金。

十一月十一日から十七日まで「税を知る週間」です。統一テーマは「この社会あなたの税が生きている」です。

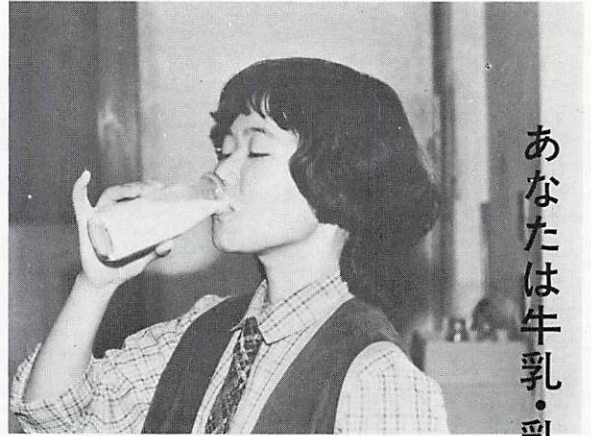
この機会に、私たちの生活向上のために税金がどのように使われているか、教育費についてみてみましょう。

公立学校の生徒一人当り税金による負担額（年間）は小学生が約四十一万円、中学生が約五十万円、高校生（全日制）が約五十七万円となっています。

これを私たちが納める税金（直接税）と比較してみますと、年収三百万円の夫婦と子ども二人のサラリーマン家庭で、一年間に納める税金は所得税（国税）と住民税（地方税）あわせて約十二万円です。もちろん、私たちが納めるのは、所得税や住民税といった直接税ばかりではありません。酒税や物品税、入湯税などの間接税も納めています。このように直接税、間接税ともに教育費をはじめいろいろな分野に還元され、暮らしに役立っています。

- 十一月十四日 税を知る週間
- 十一月二十一日
- 十一月二十八日 サラリーマンと税金
- 十二月五日 ある青春―税務大学校―
- 十二月十二日 マイホーム計画
- 十二月十九日 世界の税金
- 十二月二十六日 レジャーと税金
- （昭和五十七年）
- 一月九日 財産を相続したら
- 一月十六日
- 一月二十三日お年寄りと税金
- 一月三十日財産をもらったなら
- 二月六日還付申告はお早目に
- 二月十三日こちら税の相談室
- 二月二十日 脱税Gメン
- 二月二十七日 マイホームを売ったとき
- 三月六日 済みましたか、確定申告
- 三月十三日 退職金で第二の人生
- 三月二十日 税に不服があるときは
- 三月二十七日 教育と税金

あなたは牛乳・乳製品をとっていますか



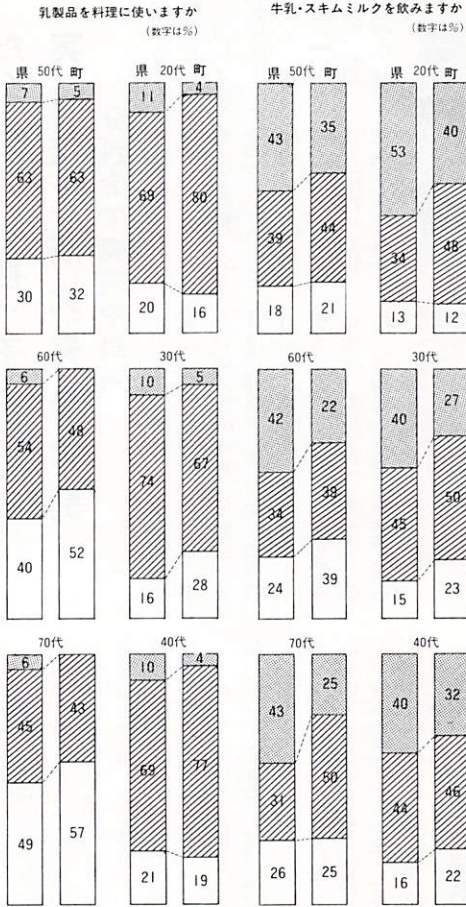
食生活アンケートの結果をみると：

までの主婦三百二十八人。アンケートの質問内容は五項目でした。集計の結果は次のとおりです。

①あなたは牛乳やスキムミルクを飲みますか(数字は%)

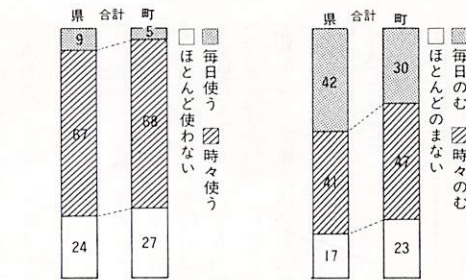
町栄養改善推進協議会(門出清子会長)は食生活についてのアンケートとしてこのほど牛乳・乳製品の摂取状況について調査をしましたが、その結果をまとめました。

調査対象は二十代から七十代



②あなたは牛乳・スキムミルクチーズ等の乳製品を料理に使いますか

③牛乳・スキムミルクを飲まない理由は



牛乳のかわりにはスキムミルクで

乳製品をすすめる町栄養改善推進協議会

このアンケート調査の結果について町栄養改善推進協議会では理事会を開いて検討した結果次のようなまとめをしました。

①の問題について、三十代から七十代までが二十代に比較して飲む率が下がっているのは、食習慣や経済状態の違い、あるいは子どもも中心の乳製品を考えるために自分まで回らないのではないかと、しかし栄養のバランスがとれた食品としてさらに牛乳ミルクをとることの大切さをPRする必要があります。

②の問題についても①との関連で乳製品をもっと手軽に料理の中に入れてもらいたい。

③の問題について「嫌い」と「その他」がほとんどを占めているが、これは推進員の取り組み次第ではまだまだふえる可能性がある。今後は地区ごとの講習会でさらに指導につとめたい。

⑤⑥については、推進員を知っていたり、推進員の話を知っている人が大多数であるのに牛乳やスキムミルク使用の人が少ない所に問題点がある。これについても、まだまだ地域ごとの講習会を開く必要がある。

全体的な問題としては「料理法がよく分らない、特別な料理



▲アンケート結果を検討

町職員異動 十一月一日付

- 企画室企画係長(住民課福祉係長) 長久 寛
- 住民課福祉係長(住民課住民係長) 兼重 佳昭
- 住民課住民係長(企画室企画係長) 大下 貞子

とほとんどの人が知っていると答えています。⑤あなたは栄養改善推進員から栄養や料理についての話を聞いたことがありますか

三十代 七七
四十 八四
五十 七三
六十 七九
七十 七五
で六割から八割の人が聞いています。



栄養推進員ベントリーレ...⑨

時には冷蔵庫の中を
活用してみませんか
農家の皆さんは桶の取入れが
すみ、ほっと一息つかれておら
れるこの頃でしょう。

食欲の秋、味覚の秋、旬の美
味しい野菜や果物が店頭を賑わ
し、一家団らんの日を過しやす
い季節となりました。

七月号の本欄には「時にはさ
っぱりと、お茶漬はいかが」と
ありましたが、今回はその秋季
版「時には冷蔵庫の中を、活用
してみませんか」……。

わが家は共働きですので、買
物をせずに、台所に立つことも
ありません。そんなとき老人三人
中学生を含めた七人家族の献立
には悩むことしばしばです。そ
こで、登場するのが冷蔵庫の整

理整頓を兼ねたわが家自慢？の
野菜の切れ端や、少しずつ残っ
ているもの、豆腐、卵を利用し
た料理です。

調理時間もあまりかからず、
経済的でもあり、一挙兩得です。
冬の野菜は、体を温める作用が
あるそうです。野菜は生で食べ
ると多くとれませんが、煮たり
すると、案外沢山とれます。

体の温まる鍋物にすると、食
品数も、多く摂取できます。塩
分をとり過ぎないためにはタレ
等は柑橘類を用い、うす味でそ
のものの持ち味をいかす料理法
にします。

家族全員で、鍋物を囲み、一
日の出来ごとを語りながらの食
事は心の栄養と体の栄養になり
ます。冷蔵庫の整理はまた食品
衛生の面でも役立ち一挙兩得と
いえましよう。

(向井関・三好 貞子)



まの学校
わがの学校

- 13日 郡園工展
- 14日 校内音楽会
- 20日 就学予定者健康診断
- 24日 インフルエンザ予防接種
二回目
- 29日 両親参観日

- 30日 代休日
- 12月5日 集金日
- 9日 体重測定(一・二・三年)
- 10日 体重測定(四・五・六年)
- 25日 インフルエンザ予防接種
二回目、貯金日
- 27日 就学予定者健康診断
- 29日 参観日
- 30日 代休日
- 12月5日 ふるさと学習

- 16日 保護者参観日、公立高校
入試説明会
- 19日 インフルエンザ予防接種
二回目
- 22日 文化祭
- 24日 代休日
- 25日 保険・貯金納入日
- 30日 月末大掃除
- 12月4日 諸会費納入日
- 7日・8日 期末テスト



▲咲きほこる花たち

阿知須中が県教育長賞
県花いっばい運動推進大会で
花いっばいの美しい郷土づく
りをめざそうと行われている第
二十回山口県花いっばい運動推
進大会で阿知須中学校が特別賞
に輝き県教育長賞を受賞しまし

た。これは、先生と生徒が一体と
なり、学園を花いっばいにとの
運動につとめ、一人一鉢運動
が評価されたものです。
また、本町でも「明るく住み
よい町づくり」を旨として、春
と秋の二回行われた花いっばい

十月二十一日、宇部市で行わ
れた、第二十三回健康なぐらし
山口県大会で酒迎道義さん(



酒迎道義さん(西条) 県知事表彰

環境衛生改善功労者で

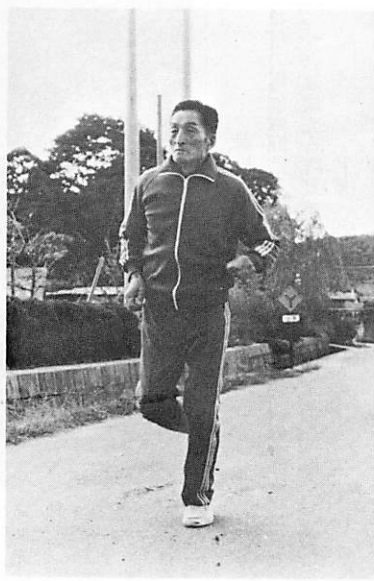
西条)は環境衛生改善功労者と
して県知事表彰を受けられまし
た。

町環境衛生連合会組織の育成
強化やごみ処理の適正化、公共
の場の清掃推進に努めたことに
よるもので、酒迎さんは本町環
境衛生連合会長を九年、県環境
連理事十三年間在任中です。

マラソンシーズン：張り切る藤田得三さん(引野)

十月二十五日 第五回隠岐島マラソンで優勝

十月二十五日、島根県隠岐島
で行われた第五回隠岐島マラソ
ン一般十キロ(六十歳以上)の
部に出場した本町引野・農業・
藤田得三さん(引野)はマラソン参
加二回目で見事優勝されました。



▲マイペースで走る藤田さん

ち主。会社を停年後職後も走ってい
たが、最近では毎日三〜五キロは
欠かさず走っており、一週間に
一度は町の公認トリムコース(三
キロ)を往復しているとのこと。
しかし、走るだけでは張り合
いが無いのでマラソンに挑戦し
ようと昨年はじめて防府読売マ
ラソンに出場、十キロの部で五
位に入賞した。タイムは44分1
秒で今のところ自己最高。これ
からの予定は今年の暮にある防
府読売マラソンで自己の最高タ
イムを上回ることだと意欲まん
まん。

走ることで心がけているのは
①準備体操を必ずする②少しず
つでもよいから毎日走る③マイ
ペースで無理をしない、などと
のことです。

町内球技大会の結果

第三十回町内球技大会は十月
四日、秋晴れの中で行われ、各
地区対抗で熱戦が展開しました。
結果は次のとおり

- ▽総合
- ①縄田②鴨生原③飛沖
- ▽ソフト
- ①縄田②引野③赤浜、且岡
- ▽一般バレー
- ①鴨生原②中西③寺浜、玉川
- ▽家庭婦人バレー
- ①飛沖②寺浜③鴨生原、玉川
- ▽卓球
- ①赤浜②鴨生原③前山、縄田
- ▽インディアカ男子
- ①東条②飛沖③小古郷、赤浜
- ▽インディアカ女子
- ①縄田②砂郷③東条、且岡

◇教育長表彰 優秀賞 赤栄老
友会、優良賞 井関小学校
引野老人クラブ、砂郷高砂会
玉川老人クラブ、縄田寿会

ふれあい 広場



「ふれあい広場」はみなさんのページです。
町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画室(有線二二四一)へお寄せください。

阿知須町ダンス同好会

手をとってあつて ステップを踏もう

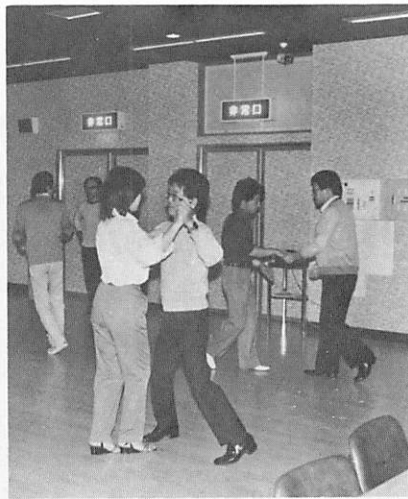
ダンス同好会は有志数名がコーヒープレイクで四か月前にささやかな発会式を行った生まれつきの会です。

はりきってまじり グループ紹介

会員は現在三千人余り。毎週日曜日午後七時から二時間半町公民館二階大会議室でイチ、ニイ、サンと、かけ声やレコードに合わせ、明るい灯りの下で、和気あいあいの雰囲気練習に励んでいます。

練習内容は、ダンスパーティー

誰かが楽しく踊れ、面白く時を過ごせることを目指しており、ブルース、マンボを主体としています。「何だジルバか」とよく耳にしますが、これがどうしてどうして、一見簡単そうに見えてもバランスよく動き回ったり、相手に確実なリードを与えたり、読み取ったりするまでには相当練習しないとできないことです。あの人となら踊れるがこの人とはどうも合わないということも少しも少なくないと思います。



ダンスは難しい理屈は抜きにして、まず手を取り合ってステップを踏んでみることから始めます。そして、つまずいたりテンポが合わなかった時は悪いところをみんな教え合うことです。少々相手の足をけつても踏んでもかまいません。「言う気と勇気」があれば誰にもできます。

いくら上手な人が一人いても相手がいなければ何の役にも立ちません。一人でも多くの人が覚えて「ダンスでパーティーできる人生は二倍楽しい」を今日から自分のものにしようではありませんか!

会員一同待っていますので、よろしく。連絡先は早瀬達之(飛石、有線二一九〇三)まで。
(早瀬・記)

短歌

たちまちに真土敷かれ隣家はこぼたれるなり一日の内に
藤重 あや子

運動会プラスチックの始まりて孫と団員トロンボーン吹く
砂村 やす子

畦道に咲くまんじゅしゃげにひそみつつ背を光らせてくちなわの行く
師井 泰枝

天窓より差す月光の冷え冷えと明日納めむ浴衣をかぞふる
石田 サダ子

朝まだき秋咲き盛る山に来て下刈りすればその花こぼるる
正司 ウメノ

右の手のいまだ痛みのとれざれば今日はミシンの磨きかけ居り
桜井 文子

氏子らの掛け声太く押し上ぐるみこしは秋の陽を反しつづつ
長谷川 さつき

味噌の塩加減問はるれば又答へつつ吾は塩売る昨日また今日
松尾 君代

立ち込む煙は御堂をあふれつつおだしかりけり北向地蔵
平海 アサノ

朝顔の終りの花の小さく咲くことも書きそへむ今日の日記に
村井 薫

隣家の軀の菜園は草ひとつなし一畝すがし蕎麦の花ざかり
三吉 琴

泰山の高嶺に立ちてひむがしの日本の空遠く眺むる
木原 百合雄

祝餅持ちてよちよち歩み来る孫に皆んなで手拍子を打つ
中本 幸枝

かわいい歓声にわく 保育園の運動会

スポーツの秋を迎え、10月は各地区、各団体でさまざまな趣興をこらした運動会が開かれました。

町立阿知須・岩倉保育園でも運動会が行われ、園児のかわいい歓声や父母の声援がとんでいました。

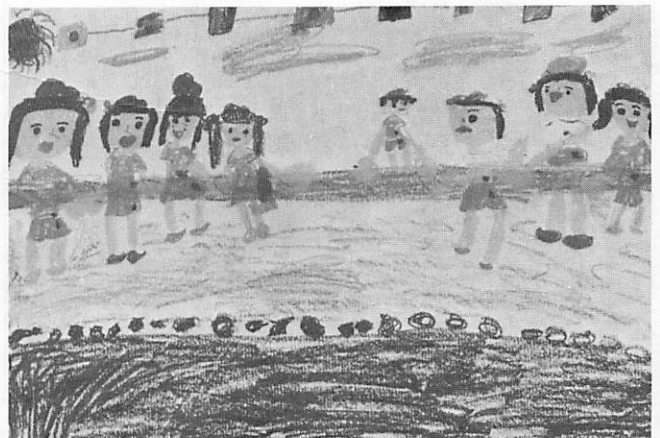


おかあさんこつちだよ

「うんどうかい・つなひき」

阿知須幼稚園

やない さとこ (6歳)



お母さんたち に感銘 若い母親の一日教室で

十月十四日に町公民館で開かれた「若い母親の一日教室」には五十人が参加しました。

講師は井坂行男氏（筑波大学名誉教授・武蔵野女子大学教授）で演題は「若い母親のあり方」講演の中で、井坂氏は多くのデータをもとに、「良い家庭の条件」や「子どもとの接し方」などについてユーモアを交えて話し、若いお母さんたちに感銘を与えました。



▶ユーモアを交えた講義を聞くお母さんたち

しいたけ栽培の初出荷

老人作業グループ 福寿会



町内唯一の老人作業グループ福寿会（且老人クラブ）では町から十萬円の補助を受け、昨年からのしいたけ栽培に取り組んで

いますが、このほど初出荷にこぎつきました。初めての取り入れにはお年寄り九人が参加、約十八キログラムを収穫し、百グラムずつの袋詰めにしました。

こうして袋詰めにしたしいたけは農協を通じて市場に売り出されました。この売上げは福寿会の運営資金として活用されることになって

▲初収穫に
思わず笑顔

新鮮な食用油の使用を

県の移動消費生活センターで学ぶ

うちの食用油はどうだろう。10月13日に開かれた3回目の移動消費生活センターでは食用油の分析。参加者は家から持ってきた天ぷら油などで酸化や過酸化物質などの実験を行い、結果をみて納得したり、おどろいたり。食用油はなるべく新鮮なものを使うよう県消費生活センターの係員は指導していました。



▶ただ今、実験中!



▲自転車にはカギをかけて

カギかけは忘れずに

防犯指導員や少年相談員が自転車の総点検

自転車にカギはかけてありますか。名前は書いてありますか。十月十五日には防犯指導員と少年相談員が町内の職場、学校阿知須・岩倉駅周辺などの自転車約五百台の総点検を行いました。

その結果、自転車に名前が書いてないものや錠がかかっていないものが多数あり、自転車には必ずカギをかけるよう呼びかけました。

こんにちは

「親と子の本読みの会」で子どもたちに夢を与える

縄田ユキコさん

— 恵比須区 —



町公民館が行っている「親と子の本読みの会」の先生として三年目になる。始めた動機は「町の教育委員会の方がこられてやってくださいな」といってくださったので。私としても以前宇部部小中学校で図書主任をやっていた関係上興味があつたもので、それじゃやらせていただきますよ」といふことになったんですよ」とニコ

ニコ顔で話される。この本読みの会は幼稚園児を中心に母子七〜八家族が勉強を

しています。縄田さんは「読んだ後で感想を聞くようにすると、おもしろい本でも後のストーリーを知るようになって、もう興味をもたなくなりません。だから聞くことはせずに、とにかく子どもたちによろこんでもらう気持でやっているんですよ。また、絵本を読む時は、子どもたちが内容を聞いて絵が頭にうかんでくるような読み方を心がけているんですよ」とのこと。

子どもの反応については「子どもは純粹ですから、興味があれば面白がって、大人が気が付かない小さなことでも見つけるんですよ。しかも、理屈っぽくなく笑ってくれますしね」。本読みをやっているよかったですね。興味は本を読むことで、一日に一度は本を読んでいるとのこと。小学校教諭を定年退職。阿知須婦人会長をつとめて現在四年目。

お知らせ

町職員の採用試験

土木技術者一人

町では来春四月採用予定の土木技術者(男子・初級、上級のうち)一人を募集します。願書受付は十一月一日(火)から十九日(土)まで。受験資格は初級が昭和三十七年四月一日から三十九年四月一日までに生まれた者で、高等学校を卒業また

体力づくりオリエンテーリング大会

申込みは十一日まで

町教育委員会と阿知須中育友会、阿知須・井関小PTAでは十一月十五日八時半から岡山霊廟で体力づくりオリエンテーリング大会を行います。クラスは男子組など六クラスです。参加希望者は十一日(水)までに町公民館(有線四八九二)へお申込みください。なお、参加料として米一合と材料代百円がいらいます。

町同和推進大会

十八日に町公民館で

町と町教育委員会、町同和教育推進委員会主催の阿知須町同和対策推進大会が十一月十八日(水)午後一時から町公民館で開かれます。

これは同和問題に対する正しい理解と認識を深め、同和問題の解決に向けて進もうとするもので、本町の同和教育、同和对

は来春卒業見込者で、一般土木(農業土木)の学業を習得している者。上級は昭和三十三年四月二日から三十五年四月一日までに生まれ、農業土木を学んだ者。受験申込書は町役場総務課にあります。郵便での請求は受けません。試験日は来年二月七日(日)。

詳細は町総務課(有線二二一三)へおたずねください。

策事業、学校同和事業等の現状や仙在・向井閣集会所の活動状況が発表されます。

また、兵庫県加古川市同和教育推進委員岡崎勢子さんの「同和問題の課題について」の記念講演も予定されています。どなたでも参加できますので希望者は十一月十日(火)までに同和推進委員または、町教育委員会までご連絡ください。

年賀状にはお年玉つき年賀ハガキの利用を阿知須郵便局では十一月五日から売り出し中のお年玉つき年賀ハガキの利用を呼びかけています。

年賀状は、日頃お世話になっている人や、ごぶさたしている人との心と心をつなぐ大切なコミュニケーションの手段です。

この発売枚数は全国で二十六億五千万枚で、このうち七億枚に一円の寄付金がついています。この寄付金は、これまで約百六

町協が福祉大会

十三日に町公民館で

町社会福祉協議会では十一月十三日(金)午後一時半から町公民館三階大講堂で昭和五十六年度福祉大会を開きます。

内容は表彰、体験発表、記念講演、アトラクションなど。記念講演は秋ボランテニア会代表岡村和子さんの「誰にでも出来るボランテニア」です。

どなたでも参加できますので主催側では多数の参加を呼びかけています。

十億円に達し、社会福祉の増進にも役立っています。

ちなみに、阿知須郵便局の今年の発売枚数は十万一千枚(うち寄付金つき二万五千枚)です。また、昨年の売上げ枚数は十一万四千枚(うち寄付金つき一万九千枚)で、町内への配達数は約十六万通でした。

年金相談所開設

日時：11月25日(水)午前10時から場所：町役場会議室国民年金、厚生年金の相談はどうぞ

11月のメモ

- 10日 育児相談(後1時半)
- 11日 ポリオ生ワク投与(後1時半)
- 12日 乳幼児衛生教育(後1時)
- 17日 1歳6か月児健康診査(後1時半)三種混合(後2時半)
- 18日 インフルエンザ予防接種2回目(砂郷保育園、阿知須幼稚園、後1時半)
- 19日 交通事故相談(前10時)心配ごと相談(前10時)
- 25日 歯科検診(後1時)(会場の記入のないのは役場)

公民館メモ

- 10日 幼児学級(前9時半) 造花教室(後1時) 移動消費生活センター(前10時)
- 11日 保存食教室(前9時半) すみ絵教室(前10時) 成人大学講座(後7時)
- 12日 手芸教室(後1時半)
- 13日 洋裁教室(前9時半)
- 14日 ふるさとの歴史を学ぶつどい(前10時) 内藤国雄氏講演会(後1時半)
- 15日 親と子の本読みの会(前8時15分公民館集合) 体力づくりオリエンテーリング(岡山霊廟前広場・前8時半)
- 17日 料理教室(前9時半)
- 18日 同和对策推進大会(後1時半)
- 19日 おかし教室(前9時半)
- 20日 洋裁教室(前9時半) あじのす大学歩こう会(岡山霊廟集合・前10時)
- 24日 婦人学級(前9時半)

今月の納税 ○国民健康保険税

善意はここに

(社会福祉協議会へ)

◇香典返し▽三万円 村田貴さん(旦西)は母キクさんの、小林芳男さん(青畑)は母ミツさんの、田辺藤子さん(岩西)は夫勇治さんの、坂野茂子さん(浜)は夫宗雄さんの▽二万円 大谷巴さん(岩前)は夫善計さんの。

◇篤志▽一千元 匿名希望 二人。

氏名	上野将勝	旧姓	住所
	礼子(早瀬)	飛石	宇部市
	岡野裕二	砂一	宇部市
	こずえ(古松)	宇部市	宇部市
	師井義人	宇部市	宇部市
	芳花(沢見)	築地	宇部市
	松下豊彦	源河	宇部市
	富次子(横山)	宇部市	宇部市
	上村康則	吉敷郡秋穂町	
	洋子(中本)	岩前	
	竹原政則	門松	
	悦子(林田)	防府市	
	秤谷俊夫	焼野	
	雅枝(中谷)	下関市	
	塩谷信夫	南祝	
	典子(深野)	山口市	
	藤本孝治	山口市	
	良子(米金)	井関	
	藤井龍夫	且西	
	香代子(島田)	小野田市	
	大野博教	宇部市	
	弘美(石田)	源河	
	小池龍雄	山口市	
	友子(松本)	井関	
	西田隆男	砂三	
	洋子(高橋)	下関市	

長久 剛 明子(渡辺) 宇部市 小西

竹重基行 門松

静江(玉川) 北祝

死亡(哀福を祈ります)

氏名 死亡月日年齢 部落

金沢百合馬 10 10 6 南祝

上野武一 10 10 6 南祝

宗久ユキコ 10 10 6 岩西前

中田 光人 10 10 6 岩西前

辻岡 春江 10 10 6 岩西前

須崎 マシ 10 10 6 岩西前

原野 午郎 10 10 6 岩西前

重村 三郎 10 10 6 岩西前

町の住民登録人口

(56年10月31日現在)	前月比
世帯 2,229世帯	+7
人口 8,378人	+9
(男 3,922人 女 4,456人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	